

「鉄のDNA」とITマネージドサービスによる新たなサービスを展開

日鉄ソリューションズ、デル・テクノロジーズのAPEX Flex on Demandで新たな顧客ニーズに対応。4ヶ月のITインフラ構築期間を2ヶ月に半減。



ビジネスニーズ

日本製鉄のグループ企業である日鉄ソリューションズは、多様化する顧客ニーズへ対応するため、従来のabsonneポートフォリオに加えて、オンプレミスでマネージドクラウドサービスが利用できるabsonne@customerの提供を開始した。デル・テクノロジーズのAPEX Flex on DemandとVxRailをサービス基盤に採用したことで、企業パースのとおり「新たな可能性を切り拓いて」いる。

ビジネス成果 (ビジネス上の利益)

- インフラ構築に要する期間を約4ヶ月から2ヶ月に半減
- 高い柔軟性で自社のコスト負担リスクを軽減
- 顧客先に設置したインフラの効率的な保守・運用管理を実現

Customer profile



NS Solutions

ITサービス | 日本



「APEX Flex on Demandモデルがなければ、お客様の多種多様なニーズにこれほど効果的に応えることは難しかったと思います」

日鉄ソリューションズ株式会社
ITインフラソリューション事業本部
クラウドプラットフォーム事業部
クラウドソリューション部長 小野寺 一浩氏

ソリューション構成 :

- [APEX Flex on Demand](#)
- [VxRail](#)
- [ハイパーコンバージド インフラストラクチャ \(HCI\)](#)

日本製鉄のグループ企業である日鉄ソリューションズには「ともに未来を考え 社会の新たな可能性を テクノロジーと情熱で切り拓く」という壮大な企業パーパスがある。「パーパスでも述べられているとおり、当社はお客様と『ともに』あることを非常に重視しています。『ファーストDXパートナー』として、お客様の成長に貢献していきたい」と日鉄ソリューションズ 取締役 専務執行役員 大城 卓氏は語る。このパーパスを支えるのが「absonne (アブソヌ)」ソリューションポートフォリオだ。absonneは同社データセンターのインフラ設備を使用してマネージドクラウドサービスを提供するソリューションだ。製造、金融、通信、公共サービスを中心に各業界で急速にクラウドソリューションの導入が進む一方で、データの近接保管やセキュリティ強化、低遅延、IT管理の負担軽減など顧客ニーズは多様化しており、それらに対応する新たなモデルが必要となっていた。

そこで、日鉄ソリューションズは、自社パーパスのさらなる実現に向けてabsonneソリューションポートフォリオの新サービス「absonne@customer (アブソヌ アット カスタマー)」の開発を計画する。利便性と拡張性、IT管理・運用業務の負担軽減に加えて、オンプレミス環境での低遅延なデータ活用オプションを提供することで、顧客が本業のビジネスにより集中できるサービスを作ろうと考えたのである。と同時に、クラウド利用と同じような短期利用モデルが顧客から求められていた。

こうした中、同社が目にしたのがデル・テクノロジーズのAPEX Flex on DemandとVxRailだ。クラウドとオンプレミスを完璧に組み合わせたサービスをコンサンプションモデルで提供すれば、CapExからOpExへのシフトも可能になり、経済的メリットも兼ね備えた魅力的なモデルになると考えたのだ。APEX Flex on DemandとVxRailの採用は、インフラ構築期間を従来の4ヶ月から2ヶ月に半減しただけでなく、短期解約に伴う自社コストの負担軽減と客先での効率的なインフラ管理も実現した。こうしてデル・テクノロジーズとの連携によって、日鉄ソリューションズはabsonneポートフォリオの新サービス、absonne@customerの展開を成功させたのである。

クラウドサービスの再考

顧客によるITインフラのクラウド化が急速に進む中で、同社は逆にデータソースとシステムを近接設置することの利点や、セキュリティ要件または資産保護の観点からクラウド化に向かない情報の存在などが見えてきたという。低遅延に対する顧客ニーズも高まっている。このように多種多様なプラットフォーム要件に対応するには、顧客固有のマネージドサービスを提供できるソリューションが理想的だと考えた。そこで、サービス基盤として俊敏性、シンプルさ、コスト管理に優れるAPEX Flex on Demandと



「APEX Flex on Demandはインフラ構築のスピードが圧倒的に速いのが印象的でした。お客様のニーズはオンプレミスでITマネージドサービスも提供される環境がスピーディーに構築されることにあります。」

日鉄ソリューションズ株式会社
ITインフラソリューション事業本部
クラウドプラットフォーム事業部
クラウドソリューション部
第一グループリーダー 内藤 誠氏



VxRailの採用を決定し、absonneソリューションポートフォリオの新サービス「absonne@customer」の提供を開始した。

「APEX Flex on Demandを採用したことで、1~3年といった短期契約メニューを盛り込むことが可能になり、さらに、バックアップ用のストレージについても、一定量を超えた後は、お客様のご利用分だけ課金するモデルを作れました」と同社 ITインフラソリューション事業本部 クラウドプラットフォーム事業部 クラウドソリューション部 第一グループリーダー 内藤 誠氏は語る。

「APEX Flex on Demandがなければ、absonne@customerの実現は難しかったと感じています。本当に画期的なモデルでした。試行錯誤を経てabsonne@customerのリリースに成功した大きな要因の一つは、様々なディスカッションを通して、当社とデル・テクノロジーズが密接に連携できたことですね」と同社 ITインフラソリューション事業本部 クラウドプラットフォーム事業部 クラウドソリューション部長 小野寺 一浩氏も述べている。

4ヶ月を要していたインフラ構築を2ヶ月に半減

顧客の要望にタイムリーに応えるためには、顧客固有のインフラをよりスピーディーに構築する必要があった。Dell VxRailを採用したことで、テクノロジーへのアクセスが容易になり、従来はハードウェアを準備してから仮想マシンが動くまでに約1ヶ月かかっていた構築期間を1週間程度に短縮できたと同社は説明する。

「インフラ構築のスピードが速いのが印象的でしたね。オンプレミスの利点はそのままだにオンプレミスで提供されることをお客様は重視しているため、調達の観点からもサービス提供開始までのスピードが特に重要なのです」と内藤氏は語る。

管理面とコスト面で顧客の負担を軽減

absonne@customerを利用する大きなメリットは他にもある。それはITの管理・運用業務にかかるユーザー負担を軽減できることだ。日鉄ソリューションズがマネージドサービスとしてこれらの作業を代行することで、顧客はその分のリソースを他の重要なビジネス業務に充てられる。大きく寄与したのがハイパーコンバージドインフラストラクチャVxRailの採用だ。これにより、従来サーバーとストレージの2人のエンジニアを要したインフラの設定作業は1人で済むようになった。また、IT環境全体を1つのコンソールで管理でき、更新作業はリモートで完了できる。さらに、セキュリティ面でのメリットや、データソースとシステムの近接設置がビジネスの遂行に優位に働くとあって、特に製造業や金融業など多くの企業から引き合いが寄せられている。



「お客様の費用負担を低く抑えたままニーズに応えたいと考える中で、デル・テクノロジーズのAPEX Flex on Demandが最適だと判断しました。」

日鉄ソリューションズ株式会社
ITインフラソリューション事業本部
クラウドプラットフォーム事業部
クラウドソリューション部長 小野寺 一浩氏



「様々なディスカッションを通して、当社とデル・テクノロジーが密接に連携できたことが主な成功要因の一つです。」

日鉄ソリューションズ株式会社
ITインフラソリューション事業本部
クラウドプラットフォーム事業部
クラウドソリューション部長 小野寺 一浩氏

コスト面では、買い切り方式のCapExからOpExの消費モデルへのシフトで、顧客は利用した分のみを支払えばよい。absonne@customerはマネージドサービスでありながらオンプレミスサービスと同等の自由度と柔軟性も兼ね備えており、優れた適応性と価値を顧客に提供する。

「お客様の費用負担を低く抑えたままニーズに応えたいと考えた中で、デル・テクノロジーのAPEX Flex on Demandが最適だと判断しました。費用シミュレーションも行って見たところ、買い切りより有利との結果が得られましたので、採用を決めました」と小野寺氏は語る。

鉄のDNA

発売から15年以上の歴史を誇るabsonneソリューションは、顧客ニーズの変遷とともに今なお進化し続けている。日鉄ソリューションズには、日本製鉄株式会社を親会社に持つ企業ならではの強みがある。それは、製造業を誰よりも深く理解していることだ。多数のデバイスを擁する大規模な製造現場の数々からデータを収集・管理する専門的知識と技術に加えて、独自のAI技術研究所を所有していることが同社の競争力を確立している。

同社はこの強みをしばしば「鉄のDNA」と表現する。製造業に関する専門知識があるのはもちろんだが、24時間・365日止まることのない製鉄所とそれを支えるIT環境をどうすれば安定稼働させられるのか、自らの経験に基づくノウハウが同社には蓄積されているのだ。製造業で最も大切な「稼働時間と安全性の追求」。これと同じ原則を日鉄ソリューションズはITに適用している。

「absonne@customerの展開によって、当社サービスはさらに進化しました。APEX Flex on Demandモデルがなければ、お客様のニーズにこれほど効果的に応えることは難しかったと思います」と小野寺氏は語る。同社取締役 専務執行役員 大城 卓氏は「お客様に『品質』を提供する当社は、ベンダーに対しても『品質』を何よりも望んでいます。その点、デル・テクノロジーは常に最先端のテクノロジーと揺るぎない品質を提供し、時代とともに変化するお客様の重要ニーズに当社が柔軟に対応できるように支援してくれています。これこそまさに『三方良し』です」と述べた。

4

[デル・テクノロジーの詳細を見る](#)

[デル・テクノロジーへのお問い合わせ](#) | [デル・テクノロジー株式会社](#)

DELL Technologies

Connect
on social

